

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年10月27日（木曜日）		開会	11:00		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	13:56					
委員の出欠		1 番	横田 保江	出席	6 番	大内 省吾	出席	7 番	木嶋 悦寛	出席
		10 番	小林 敏之	出席	14 番	佐藤 初雄	出席			
出席説明員	総務部	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		ふるさと応援・情報化推進室長		
		浦山 吉人	出席	伊藤 輝幸	欠席	寺尾真太郎	欠席	松本 博史	出席	
		財政課長		税務課長		防災交通課長		尾岱沼支所長		
		角川 具哉	出席	竹中 利哉	欠席	麻郷地 聡	出席	大坂 恒夫	出席	
		西春別支所長		総務課主幹		ふるさと応援・情報化推進室長代理		総合政策課主幹		
		小村 茂	出席	佐藤 亮	欠席	山田 哲哉	出席	橋本 達也	出席	
		防災交通課防災監		防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査		
		三瓶 秀憲	欠席	深川 淳一	欠席	武田 聖士	欠席	金澤 亮太	欠席	
		財政課主査		財政課主査		税務課主査		税務課主査		
		佐藤 貴也	欠席	戸野 晶雄	欠席	伊藤 武史	欠席	高橋 克彦	欠席	
		防災交通課主査		防災交通課主査		西春別支所主査				
		寺澤 淳司	出席	相馬 儀彰	欠席	佐藤 政士	欠席			
	選挙管理 委員会	書記長		書記						
		伊藤 輝幸	欠席	佐藤 亮	欠席					
	別海 消防署	別海消防署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼予防課長		別海消防署警防課長		
		山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席	太田 裕司	欠席	
	教育 委員会	教育部長		教育部次長兼学務・スポーツ課長		生涯学習センター長兼中央公民館長		指導主幹		
		山田 一志	出席	宮本 栄一	出席	新堀 光行	出席	相澤 要	欠席	
		指導主幹		指導参事		学校教育課長兼学校給食センター長		生涯学習課長兼中央公民館副館長		
		稲村 和典	欠席	吉光寺 勝己	欠席	池田 卓也	出席	福原 義人	出席	
		西公民館長		東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学務・スポーツ課主幹		
		小村 茂	出席	大坂 恒夫	出席	堺 啓	出席	斎藤 陽	出席	
		学務・スポーツ課主幹		学校教育課主幹		西公民館副館長		東公民館副館長		
		恒川 敦史	出席	堀込 美穂	欠席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席	
		郷土資料館副館長		郷土資料館主幹		学務・スポーツ課主査		学校教育課主査		
		石渡 一人	欠席	戸田 博史	出席	大山 晋作	出席	高津 寛人	欠席	
		生涯学習課主査他		学校給食センター主査		図書館主査		生涯学習課主任		
		上杉 大洋	欠席	平下 奈津子	欠席	吉田 美奈子	欠席	坂下 貴幸	出席	
	委員外の出席		議長	西原 浩			合計	1名		
	事務局職員		局長	干場 富夫			合計	1名		
	傍聴者数		一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名	

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長	7番 木嶋	11:00 開会
		出席委員5名、委員外1名、会期1日
		挨拶
		【総務部所管事務調査】
総務部長	浦山	挨拶及び概要説明
		・10月23日に挙行した町制施行50周年記念及び生涯学習センター落成記念式典並びに、歓迎夕食会参加に際し、感謝とお礼を申し上げる。また、その翌日に行われた第15回友好都市サミットin別海では、友好都市間の連携を一步前へをテーマに、有意義な意見交換や交流ができ、この式典やサミットを節目に、さらに新たな時代に向け、行政の事務事業に取り組んでいく。 ・本日の委員会では「新型コロナウイルス感染症対策について」、「地域情報化の推進について」、その他の事項として「標津線代替輸送路線安定確保対策等について」説明させていただく。
委員長	7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
		(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
総務部長	浦山	・資料により説明 ・8月にピークだった感染者数は、9月以降10月上旬までは減少傾向であったが、10月中旬に入り再び増加傾向で、昨日・一昨日の道内の1日当たりの感染者数は5,000人を超えている。この増加状況は、全都道府県の中で北海道が特に顕著で、東京都・大阪府などよりも多い数値となっており、全国都道府県の中で1番多い感染者数となっている。 ・10月26日現在の道内の検査及び感染者数等の状況は「表」のとおりだが、御承知のとおり、医療機関の負担軽減を図る観点から、9月26日以降は感染者の全数届出の見直しが行われ、把握可能な数字に限られることから、北海道の公表の方法も変わっている。「表」中、グレーの網掛け斜線が引かれている欄は、従来は公表されていたが、現在は公表されていない。 ・資料2の「表」の上段は、根室振興局管内の発生状況だが、10月25日は63人、26日は58人と今後の増大が懸念される状況となっている。2段目の「表」は、北海道が令和3年6月30日以降に公表方法を見直して、市町村単位での感染者の公表を行い、令和4年9月26日までの管内の市町村ごとの公表された感染者数を集計したものだが、9月26日を以って感染者の全数届出の見直しが行われたことから、9月27日以降は北海道による市町村単位での感染者数の公表は行われなかったこととなった。このことから各市町村では独自の工夫により今後感染の状況をお知らせしていくことになるが、本町では下段の右側の「表」のとおり、町立別海病院が把握する新規陽性者等の状況を、今後も継続してホームページ上でお知らせすることとしている。直近の状況は、道内管内同様ここ数日で新規陽性者数の数が増えている状況。中学生及びその家族内感染が現在の増加の主要因と考えられ、別海中央中学校では10月25日から本日まで臨時休校の措置がとられている。 ・下段の左の表は、新型コロナワクチン追加接種の状況だが、本日（10月27日）からオミクロン株対応のワクチンの接種が行われることとなっており、日程等の詳細は資料2裏面のとおり。
委員長	7番 木嶋	質疑
副委員長	14番 佐藤	・基準というか発表の方法が変わったことは理解するが、これからの季節は風邪とインフルエンザとの兼ね合いの中で、増える警告をお話しされる評論家もいるが、その対応は病院も含め検討されているのか状況をお聞きたい。 ・インフルエンザの予防接種は、11月1日から別海病院、西春別駅前診療所、尾岱沼診療所において例年どおり行う。接種料金は乳幼児・小学生は2,500円、中学生・高校生一般の方は4,000円となるが、ワクチン接種費用の助成等も例年のとおり行い、この冬の
総務部長	浦山	

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

委員 2番 横田	コロナあるいはインフルエンザ双方の感染拡大を防ぐような対応をとってきたい。 ・ワクチン接種について、当初予約をしていた方が取りやめをした際、一般の方から募集していたと思うが、そういうことは今もやっているのか。 ・基本的には同様の対応をとるが、27日から始まるワクチン接種については、特に当初1回目・2回目の頃は申込みも多く、その分キャンセルもあり、その先に申し込んでいる方に促進を促して早く打ってもらうなどの対応をとってきたが、今現在の10月・11月の接種は、接種間隔が3か月となっており、その資格を満たした方には数多く接種券を送っているが、申込みが少ない状況で、1日の枠に満たない日もあることも想定されている状況。今後、月初めには広報でも示され、所管課でも積極的にホームページ等でも毎日のように情報を流しており、積極的な申込みがあることを期待しているところ。 ・他に質疑あるか。 ・質疑なし (2) 地域情報化の推進について ・資料により説明 ・本日の委員会では「デジタルインフラの整備について」及び「マイナンバーカードの普及促進・利用拡大」について本町の取組みを説明する。 ・デジタルインフラの整備は、本町では令和2年から本町全域を対象に光ファイバの整備を進め本年7月19日に整備を完了し、7月20日から町内全域で光サービスの利用が可能となった。町内の小中学校への光回線の引き込み状況は資料のとおりだが、調整中となっていた上風連小学校の開通予定日は、11月24日（木）、上風連中学校も同じく11月24日（木）、中西別小学校は11月29日（火）、中西別中学校は11月15日（火）となる。また、ウの上春別小学校は11月29日（土）に変更となった。今後、町内の各へき地保育園・認定こども園・幼稚園・児童館についても光回線の引き込みが可能となり、これまでこれら施設についてはI S D Nとアナログ回線だったため、これら施設のL G W A N環境化を進めることができなかったが、デジタル基盤が整備されたので、既に整備を終えている認定こども園同様にへき地保育園・認定こども園・幼稚園、児童館の9施設についても、L G W A N環境の整備を進めていきたい。 ・（2）の、次世代移動通信システム5G、ローカル5Gについては、北海道でも札幌市や旭川市、道東では釧路市であったり本町も一部のエリアでは次世代移動通信システム5Gの利用が可能となっているが、道内でも利用可能なエリアは限られている状況。 ・5Gの特徴は資料に記載のとおりだが、一方で4Gと比較して5Gの電波は遠くへ届かないという特徴がある。このことから、ドコモやau・ソフトバンクと大手通信キャリアがOG回線のように、全国全域に5G回線の通信を可能にするためには、これまで以上に基地局を整備しなければならないことから、中々地方への整備は進まないと言われている。 ・イ)のローカル5Gの特徴については、ドコモやau・ソフトバンクと大手通信キャリアが整備する第5世代の移動通信システムを一般的に5Gと呼ぶのに対して、地域や産業の個別ニーズに応じて、地域の企業や自治体が建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築できる5Gシステムをローカル5Gと定義されている。ローカル5Gの利活用については、ウ)に記載のとおり、根室管内1市4町で根室地域の5G地域研究会を立ち上げ、根室地域の自治体が相互に協力し、地域課題の解決に向けた5G及びローカル5Gの利活用について研究、検討を行っている。5Gの特徴を生かし遠隔医療の分野などでも利活用について総務省交え検討を進めている状況。 ・4のマイナンバーカード利用機会の拡大については、「（1）コンビニ交付サービスについて」、「（2）行政手続のオンライン化について」、4ページ上段の「（3）転出転入手続ワンストップ化について」は、既に令和4年度予算措置し現在準備を進めている。 ・「（1）のコンビニ交付サービスの概要について」は記載のとおりだが、現在は4年度中のサービス開始に向けシステム改修を進めており、住民票及び印鑑証明書の発行が可能になる予定。マイナンバーカードによるコンビニ交付サービスは、人口規模の大きな自治体での導入実績があり、これはコンビニサービスを実施するに当たり必要となる基盤システムが	
総務部長 浦山		
委員長 7番 木嶋		
委員 一同		
委員長 7番 木嶋		
ふるさと応援・情報化推進室長代理 山田		

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

高額であるため、人口規模の小さい町については中々導入しにくいといった実情があったが、この度、中小規模自治体向けの安価な基盤が提供されたことや、本町のほか28の自治体で構成する「北海道自治体情報システム協議会」において、共同でシステムを開発することになり、割り勘効果でシステム開発に係る経費を抑制できるため、先に開催の臨時議会において予算要求し、今年度内のサービス開始を目指し準備を進めているところ。本町は別海市街・尾岱沼・西春別駅前のほか、上春別・中西別にもコンビニが点在しているため、役場の閉庁する時間体や土日祝日においてもマイナンバーカードを利用し、住民票・印鑑証明書の発行が可能となる。

・「（２）行政手続のオンライン化について」も資料のとおりだが、このオンライン化に係るシステム改修についても、本町のほか28の自治体で構成する「北海道自治体情報システム協議会」において、共同でシステム開発することし準備を進めている。この行政手続のオンライン化の環境整備事業により、準備を進めている手続及び管理システムについては、3ページのとおりととなっている。

・「（３）転出・転入手続きワンストップ化について」も資料のとおりだが、国から概要が示されているものの、詳細な情報が中々出てこなかったり、都度その内容が変更になったりとはっきりと固まった情報が出せない状況から、概要のみの説明とさせていただく。事業に係る予算等は令和3年度に予算要求し、4年度に繰り越しをしているところ。

・「５ 導入を検討しているシステム、サービスについて」は、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、各種システムの導入やサービスの提供について検討を進めており、スマートシティ構想・デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、他の自治体の導入事例や、総務省デジタル庁からの説明・情報提供のあった中から、ふるさと応援情報化推進室において導入を検討しているもので、今後、関係部署と調整を図りながら早期に導入していきたいシステムサービスについて説明する。

・1つ目として「書かない窓口システムについて」は、令和4年3月定例会の一般質問において、横田議員から住民票の写しや印鑑証明書の請求手続、引っ越し等の住民異動手続において、申請書の記入が不要となる「書かない窓口」の設置について御質問をいただき、当時は北見市が先進的に導入し、全国の自治体から注目を集めていたところだが、その後、本町でも「書かない窓口」の実現に向け同様のシステムの提供をしているベンダーが複数あり、その中の1社からデモ機による操作説明会であったり、導入後の手続イメージの説明を受けているところ。システムサービスの概要については記載のとおりで、本システムは人口が多く転入転出手続の際に窓口が混雑する「市」であったり、例えばニセコ町であったり、倶知安町などの外国人の転入転出の多い自治体での導入事例が多い。住民負担の軽減と住民サービスの向上を図るとともに、業務の効率化・省力化を図る上でも大変良いシステムであると認識しており、今後は導入費用や導入後の運用費用を勘案した中で、関係部署と調整を図りながら検討を進めていきたい。

・「（２）ラインを活用した行政情報の発信について」、資料に添付しているものは、他の市の例となるが、お友達登録をした際に、安全安心に関するカテゴリーで、災害関連や犯罪事故関連の情報について登録をした方について、「詐欺の電話が頻発してます。還付金詐欺が多発してます」というような通知を出しているものとなり、特徴は欲しい情報をピンポイントで情報発信できることにある。現在町では、ホームページやSNSを活用して、情報発信しているが、SNSの場合は例えば新しい図書が入荷した情報が定期的に流れてきた時に、そういった情報を希望していない方に頻繁に情報が流れると、SNSを見なくなることもあるが、ラインは自分が欲しい情報登録することで、欲しい情報のみを受け確認することができるという特徴がある。また、資料右の図のメニューに「ごみのこと」があるが、例えば情報発信するだけではなくて、ごみに関するメニューを設け、そのメニューから入っていったら、例えば処分をしたいごみの名称を入力すると、その「ごみ」が何ごみで処分するのかについて応答があるような利活用の仕方もある。また、「書かないシステム」との連携もあり、例えば住民票が欲しい方は、ライン上から住民票の申請者の氏名や必要な住民票の氏名等を入力することで、ライン上で申請用のQRコードが生成されることになり、そのQR

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

			コードを窓口で専用の機器で読み込むことで、システムのほうに申請者であったり、欲しい住民票の方の情報等が連携する仕組みになっており、申請者は申請書に書くことなく、住民票等の交付を受けることができるといった連携も可能になる。ラインを導入した場合は、現在、まもメールとして熊の出没情報や不審者情報を発信しているが、ラインのシステムで統合するなどして、まもメールに係る経費削減や新しい効果的なシステム・ツールを導入していきたい。 ・「（３）窓口支払いのキャッシュレス化について」は、令和４年３月定例会で横田議員から一般質問のあった、申請手数料を精算するセルフレジの導入目的の一つである感染症対策として、支払い時の接触機会の軽減を実現できるサービスと考えている。 ・「（４）公衆無線ＬＡＮ（フリーＷｉＦｉ）環境の拡大について」は、整備予定施設の西公民館や東公民館は数年後に施設の改修計画もあることから、この時期に各部屋にアクセスポイントを設置し、ＬＡＮケーブルを張ることはタイミング的に良い時期ではないと考えていたが、最近はコンセントに差し込むだけで安定した公衆無線ＬＡＮ環境を構築できる機器通信料制限なしで使える機器もあることから、改修までの間についてはこの簡易的な機器を設置し公衆無線ＬＡＮ環境施設として整備を進める検討をしている。地域センターと併設している西春別支所や尾岱沼支所は、通常時は支所側の事務所にこの簡易的なコンセントに差すだけのＷｉＦｉを設置し、例えば災害時に地域センターが避難施設として開設された際には、このＷｉＦｉを地域センター側に移動しコンセントに差し込んで公衆無線ＬＡＮ環境が整うことになるので、そういった運用も検討しているところ。 ・「（５）デジタルサイネージの活用について」は資料に記載のとおりの内容で検討している。また、庁舎内ロビーに設置している電光掲示板についても、大型ディスプレイに入れ替え各種情報の発信や、庁舎内掲示のポスターなどのデジタル化などの活用含め検討している。
委員長	7番	木嶋	質疑
委員	2番	横田	
ふるさと応援・情報化推進室長代理		山田	
委員長	7番	木嶋	
ふるさと応援・情報化推進室長代理		山田	
委員長	7番	木嶋	
			・ラインでＱＲコードを取得する話があったが、その後役場に行くのか。また、セイコーマートなどで書類をとれるということか。 ・ラインからの申請は、あくまでもその生成されたＱＲコードを読み込むための専用の機器が必要で、それらの機器はコンビニには設置してなく、今後導入を検討している「書かない窓口システム」と連携したシステムとなり、そういった場合は役場や支所の窓口に来庁していただく必要がある。 ・他に質疑あるか。 ・今回予定している内容は、マイナンバーカードの普及率が非常に重要になってくると思うが、今の町内の普及率はどの程度なってるか聞かせていただきたい。 ・直近の実績、資料を持ち合わせてなく改めて報告させていただきたい。 ・コンビニで書類が出来るというのは非常に重要。利便性ということでは移動しなくても、近場で取れるということは非常に重要で、タイムリーにそれを確保できることは非常に重要だと思う。今進める予定については確実にやっていただきたい。 ・スマートシティを進める中で重要なのは、監視カメラであったり町内の色々な状況を把握できるような仕組みが重要。スマートシティの先進地の兵庫県の加古川市は、市内に１,５００カ所の監視カメラを導入して、色々な市内の安全や徘徊するお年寄り・子供に対する犯罪行為など、色々なことを監視・検証できる仕組みとして活用されているし、ＩＣＴ化を上手く使ったデジディムと言う市民の意見聴取の場・広聴の場の活用が進められているので、パブリックコメントなどそれに代わる有用な手段として期待もあるので、スマートシティ化はデジタル田園都市構想もそうだが、今後出来ることをやっていくことで必要性があることを積極的に取り組んでいくことは大事なのでよろしく願いたい。 ・マイナンバーカードの交付率について、８月末時点では５,０９９件で人口に対する交付率は３５％で、そこから数か月経過しており、土曜日・日曜日にも来庁者が手続きをしておりますので大分率は上がってると思う。 ・国は一生懸命マイナンバーカードの普及は、コマーシャルやキャンペーンを行いポイントの普及などをやっているが、やはりマイナンバーカードの有用性を行政として町民にお知らせす
ふるさと応援・情報化推進室長		松本	
委員長	7番	木嶋	

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

		る必要があるし、作って使わなければ何もならないので、使い方はこれから整備していくICTの環境は重要となるので、それと両輪として進めていただきたい。 ・他に質疑あるか。 ・4番の(1)から(3)までは、どの位の時期を目処に実用化となるのか。 ・(1)の「コンビニ交付サービス」は、令和5年2月ないし3月からのサービス開始を予定。 ・(2)の行政手続きのオンライン化は、システムの改修は令和4年度の事業で、令和5年3月までにシステム改修を予定しているが、これらの事務手続フローについて、各担当部署とその事務の流を整理する必要があり、運用については来年の4月以降その準備が必要となる。 ・(3)の「転出・転入手続ワンストップ化」は、国から概要や細かな情報が降りてきていないが、事業的には令和4年度内に完了する。併せて事務フロー等の整理が必要となり、その整理が出来次第サービスの提供を考えている。 ・(1)は今年度中に運用可能。(2)と(3)は少し時間かかるという認識でいいか。 ・(1)は年度内のサービス開始が可能。(2)、(3)は実際に手続を担当する担当課と事務フローの整理が必要になるため年度内からのサービス開始は難しい状況。 ・他に質疑あるか。 ・質疑なし
委員長	7番	木嶋
議長		西原
ふるさと応援・情報化推進室長代理		山田
議長		西原
ふるさと応援・情報化推進室長代理		山田
委員長	7番	木嶋
委員		一同
委員長	7番	木嶋
		議事2 その他
		(1) 標津線代替輸送路線安定確保対策等について
防災交通課主査		寺澤
		・資料により説明 ・今後のスケジュールは、年内に各自治体の首長及び議会議長が出席する協議会において、今現在議論されている再編案を提案し決定する予定となっている。 ・4ページのバス路線の再編案については、標津標茶線は利用者が限定的な西春別標茶間を切り離し、この区間は別海町と標茶町で費用負担し運行する。また標津西春別間、国の補助を継続した上で、路線全体ではなく系統ごとに関係自治体で費用負担し運行する案となっている。 ・5ページの西春別標茶間の再編案は、この区間の利用者は別海町から標茶高校に通う学生のみで限定的であることから、今年度入学した学生が卒業する令和7年3月31日まではこの路線を維持し、令和7年3月31日を以って当該区間は廃止する案となる。この区間の費用負担は、令和5年10月1日まではこれまでのどおり1市4町で負担するが、それ以降は別海町と標茶町で完全折半により費用負担をして路線を維持していくことで協議が整っている状況。なお本再編案は、地元町内会・地元中学校・地元町議会議員の皆様に事前に経過として説明させていただいているところ。 ・6・7ページは現在の標津標茶線の時刻表となっており、令和5年10月1日までは、ここにある時刻表の路線全体を1市4町で負担し運行し、令和5年10月1日以降については、オレンジ色で囲った部分（西春別から標茶区間）は、別海町と標茶町で負担し運行した上で令和7年3月31日を以って廃止することとなる。 ・今後も経過報告を受けたいので願います。
委員長	7番	木嶋
		総務部終了
		12:07 休憩
		13:10 再開
		挨拶
		【教育委員会所管事務調査】
教育部長		山田
		挨拶及び概要説明
		・23日の日曜日に開催された町制施行50周年記念及び生涯学習センターみなくろの落成記念式典出席へのお礼。加えて24日に開催した記念コンサートに足を運んでいただいたお礼。 ・教育委員会関係の所管事務調査事件は、「新型コロナウイルス感染症対策について」、「地域文化の振興について」、「成人式について」、「生涯学習センターの管理及び運営について」の4件と、その他として10月2日に開催した「パイロットマラソンについて」を順次説明させていた

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

		だ。 ・スケートの話題に触れるが、令和4年10月21日から23日の3日間で開催された第29回全日本スピードスケート距離別選手権大会において、上風連出身の森重航選手が500メートルで3位に入賞、上春別出身の野々村太陽選手が1,000及び1,500メートルで優勝し、日本代表として11月から始まるワールドカップスピードスケート競技会の前半戦の出場を決めた。また、この大会結果に基づき、森重選手、野々村選手、別海出身の森野こころ選手の3名が、来年1月12日から22日にアメリカで開催されるワールドユニバシティーズゲームズへの出場も決めている。さらに森野選手は11月26日から27日にフィンランドで開催されるジュニアワールドカップスピードスケート第1戦の出場も決めており、町としても別海町スポーツ後援会を中心に、町全体で選手の応援を引き続き行っていきたいと考えているので、御理解、御支援をお願いしたい。
委員長	7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
		(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
教育部長	山田	・資料により説明 ・道内では医療の逼迫等感染拡大を防ぐ取り組みとして、北海道におけるBA.5対策強化宣言が出されたが9月末で終了し、その間全国・全道的に感染者は落ち着きを見せたが、最近の報道等によると、先週当たりから感染者が増加傾向にあり、道内でも5,000人を超えるなど前周を上回る状況にある。町内では10月5日から15日位までは、1日の感染者数が0～2名程度で推移していたが、16日当たりから増加に転じて日々の感染者が7名から8名となっていた。町内の感染者数は家庭を核として局部的に感染の広がりを見せている傾向にあり、24日から昨日までの1日の陽性者は、概ね15人程度で推移しており、感染拡大を非常に心配している状況。 ・学校でのコロナ対策については、引き続き校長はじめとする教職員に子供たちの健康の変化を注意深く観察してもらうとともに、対策の徹底をお願い併せて生徒・先生方自身の体調変化が感じられる場合は、速やかに簡易検査キットで確認するなど対応をお願いしているところ。
委員長	7番 木嶋	・質疑
委員	一同	・質疑なし
委員長	7番 木嶋	・コロナの確認の仕方など変わってきて混乱しているところもあると思うが、学校・各施設については今までの対策を引き続き行っていたら、しっかりと対策をとっていただきたい。
		(3) 地域文化の振興について
郷土資料館主幹	戸田	・資料により説明 ・資料の「1、これまでの経緯」では、昨年度については史跡公園整備基本構想を策定しホームページで公開している。 ・資料の「2、今年度の事業概要」では、奥行臼駅通所整備検討委員会を今年度は3回開催し整備基本計画の内容を検討する。9月7日に第1回目、2回目を12月初旬、3回目を2月頃に予定。なお、史跡公園内で予定していた「トロッコ乗車体験」や「乗馬体験」などのアクティビティーについては、今年8月12日から14日の3日間で開催した夏休みトロッコまつりや10月9日に開催した奥行臼散策デーで試行的に実施した。どちらも好評だったが、ここで得られた反省点や改善点を基本計画策定に生かしていく予定。また、基本計画の内容は町内での検討や町民向けのワークショップの開催などにより、幅広く意見を取り入れていく予定。 ・資料の「3、令和4年度事業予算及び内訳」は記載のとおりだが、文化庁の補助金と道の地域づくり総合交付金を受ける予定。 ・資料の「4、奥行臼史跡公園整備基本計画策定支援業務委託の概要」は、基本計画の策定に当たり専門業者に策定支援を業務委託しており、業務内容等については資料のとおり。 ・資料の「5、来年度以降の予定について」は記載のとおりだが、老朽化が著しい遺構や歴史的建造物は、史跡指定地外でも先行して工事を実施することとしており、奥行臼駅舎やホーム等は先行して工事を実施することも考えている。 ・宮舞町湿原について口頭で報告する。本件は5月20日の本委員会での説明及び6月議会での一般質問に対する答弁のとおり町有地化は叶わなかったが、ムセンズギが自生する湿原の一部については当面温存されることになった。その後、土地所有者との話し合

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

			いの結果、重機などの出入りなどもあり危険なため、立ち入る際には事前に土地所有者から許可を受けることが条件となったため、8月31日付けでその旨をホームページに追記している。今後は土地所有者の了解を得た上で、湿原内の植物調査や観察会の実施、自然学習の場としての活用を検討していきたい。
委員長	7番	木嶋	・質疑
			・史跡公園の関係だが、今回の整備に関して新たに取得する予定の土地があるのか。また、設計委託業務の中に「ワークショップの企画運営」があるが、この目的と対象者について伺いたい。
郷土資料館主幹		戸田	・資料の図の「6」は森林でほとんどが私有地の状態。「赤」で囲っている史跡指定地は全て町有地化を完了している。また、道道側の一部がまだ町有地外となっており、今後土地所有者と交渉を進めていきたい。
			・ワークショップの関係は、昨年度も実施しており町民の方から幅広く御意見を伺い、計画に積極的に携わってもらう目的で行っており、今年度も2月に実施したい。
委員長	7番	木嶋	・史跡公園を整備していく中で考慮してほしいのが、国道を走っているときに確認できるのが駐車場やトイレで、その多くは見通しがきかない。公園の入り口・駐車場は立派な広い駐車場ありながら、そこから先が見通せないことによって公園の規模やわくわく感じが薄れる感じがするが、その辺の考え方はどうか。
郷土資料館主幹		戸田	・国道から見ると全体像は見えにくい、積極的な様々な宣伝等を通して知ってもらう。または国道沿いに大きな看板等を設置してその内容がわかるような工夫は、今後の整備の中で出来るのではないかと考える。
委員長	7番	木嶋	・看板は色々な制限もあると思うが、駐車場からのアプローチが足りない感がある。ガイダンスの拠点施設が出来るということなのか。駐車場は図の「7番」のみの考えで良いか。
郷土資料館主幹		戸田	・それだと足りない部分もあり、図の「5番」付近にイベント等の際には駐車も考えており、トロコ祭等では駐車場が満車になった状況があったので考えていきたいが、完全に駐車場にすると文化財の保護面で差し障りがあるため工夫しながらやっていきたい。
委員長	7番	木嶋	・想定する来場者があると思うが、不便をかけるような計画にならないようお願いする。
			・他に質疑あるか。
委員		一同	・質疑なし
委員長	7番	木嶋	(4) 成人式について
生涯学習課主任		坂下	・資料により説明
委員長	7番	木嶋	・結論に関しては集計結果が出ただけで出していないという理解でよい。
生涯学習課長		福原	・今後内部協議及び町との協議等々進めていきたい。
委員長	7番	木嶋	・いつぐらいまでに結論がでるのか。
生涯学習課長		福原	・12月には議会の皆様へも一定の方向性をお示ししたい。
委員長	7番	木嶋	・定例会時には議会に出せるような形になるのか。
生涯学習課長		福原	・そのとおり
教育部長		山田	・1月7日には1年早くなった方々の成人式が開催される。これまでも成人式の晴着の衣装の予約は1年前となるが、仮に20歳の開催に戻ると1年間空白が生じ、衣装のことだけを心配すると影響は無いとなるが、早期に町の方針・考え方を示す必要があると考えており、12月には町の方針を示すため、今後内部協議を進めていきたい。
委員長	7番	木嶋	・他に質疑あるか。
委員		一同	・質疑なし
委員長	7番	木嶋	(5) 生涯学習センターの管理及び運営について
中央公民館副館長		福原	・資料により説明
委員長	7番	木嶋	・スケジュールが抜けていると思うが、そのあたりも含め補足説明願う。
中央公民館副館長		福原	・今後の予定は、機種選定協議会等を開催して、年度内に運用できるよう準備を進めたい。
			・3月に運用できるということは、物品が入ってそれを使うことができるという理解で良いか。
委員長	7番	木嶋	・そのとおり。
中央公民館副館長		福原	・この件は調査事項に急遽含めていただいたが、9月11日に「みなくる」のホールでクラシックコンサートが開催された際、ホール付のピアノが無く外からピアノを持ち込んでコンサートを開催した。その際ピアノの音が響いて、絃の人達とバランスをとるのが難しかった。コンサートに

令和4年第9回総務文教常任委員会 要点記録

		参加した音楽大学出身の13名の意見で、このホールにフルコンサートピアノはサイズが合わない話となり調査事項とさせていただいた。シミュレーションなどで音圧に対する実測なども行われたというが、弾き手や構成、反響版でも影響してくると思うので、フルコンサートピアノの必要性や新品の購入の必要性も含めて、専門家の皆さんの意見があり今回調査とさせていただいた。この件は将来的に生かされるようなことを考えていかなければならないが、考えがあればお聞きたい。
中央公民館副館長	福原	・ピアノの購入は、設計段階で想定される事業・イベント・コンサート等を予定し設定した。矢臼別演習場周辺まちづくり構想において、課題と目標への終着点と考えているが、町民が主体となって活動・交流の場としての生涯学習センターに購入するピアノについても、生活の質向上に繋がるよう取組みを順次進めていきたい。
教育部長	山田	・ミュージシャンやプロの方のご意見はしっかりと受けとめていきたい。また、最終決定に至るまでの判断材料の一つになるとも考えている。ただ総体的には別な専門家の意見のであったり、それぞれの見方もあり、偏らずに意見をしっかりと受けとめて、町民が利用するというようなことを第1に考えている。町民・関係者から聞き取りをし、どういったピアノがこのホールにふさわしいのかといった意見も聞いている経過もあり、総体的に判断をしていきたい。
委員長	7番 木嶋	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	7番 木嶋	議事2 その他
		(2) 第44回別海町パイロットマラソンの実績について
教育部次長	宮本	・資料により説明
		・大会終了後に実施したアンケート調査では、ご意見として「町民からの応援が力になった」「スタッフやボランティアの対応が良かった」など、参加者の大多数が来年も参加したいというような結果だった。また「秋味なべ」の復活の要望も多かったことから、来年度は飲食等の提供も再開したいと考えている。委員の皆様には応援をいただき感謝申し上げます。
委員長	7番 木嶋	閉会挨拶
		13:56 閉会